

結 果 の 要 約

1 福岡県の15歳以上人口4,324,408人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は2,480,747人で、前回調査の平成12年に比べ13,078人、0.5%増加している。男女別にみると、男性は1,406,466人、女性は1,074,281人で、平成12年に比べ男性は0.8%減少、女性は2.3%増加している。

労働力率()は59.4%で、平成12年に比べ0.1ポイント上昇している。また、男性の労働力率は72.9%、女性の労働力率は47.8%で、平成12年に比べ男性は0.2ポイント低下、女性は0.6ポイント上昇している。

()15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は2,297,154人で、平成12年に比べ26,028人、1.1%減少している。男女別にみると、男性は1,289,073人、女性は1,008,081人で、平成12年に比べ男性は2.9%減少、女性は1.3%増加している。また、65歳以上の就業者数は167,829人(就業者数の7.3%)で、平成12年に比べ12.5%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は1,941,255人(就業者数の84.5%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は247,730人(同10.8%)、家族従業者は107,837人(同4.7%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は0.8ポイント上昇、自営業主は0.4ポイント低下、家族従業者は0.4ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が470,936人(就業者数の20.5%)と最も多く、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」が336,996人(同14.7%)、「製造業」が278,930人(同12.1%)、「医療、福祉」が249,324人(同10.9%)、「建設業」が217,328人(同9.5%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は41.6時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ44.1時間、28.6時間、役員は44.4時間、雇人のある業主は48.6時間、雇人のない業主は39.9時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は463,378世帯(夫婦のいる一般世帯1,111,803世帯の41.7%)で、平成12年に比べ58世帯、0.0%増加している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は338,167世帯(同30.4%)で、平成12年に比べ7,308世帯、2.1%減少している。

7 県内に在住する外国人就業者数は15,956人で、平成12年に比べ1,972人、14.1%増加している。

図1 福岡県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

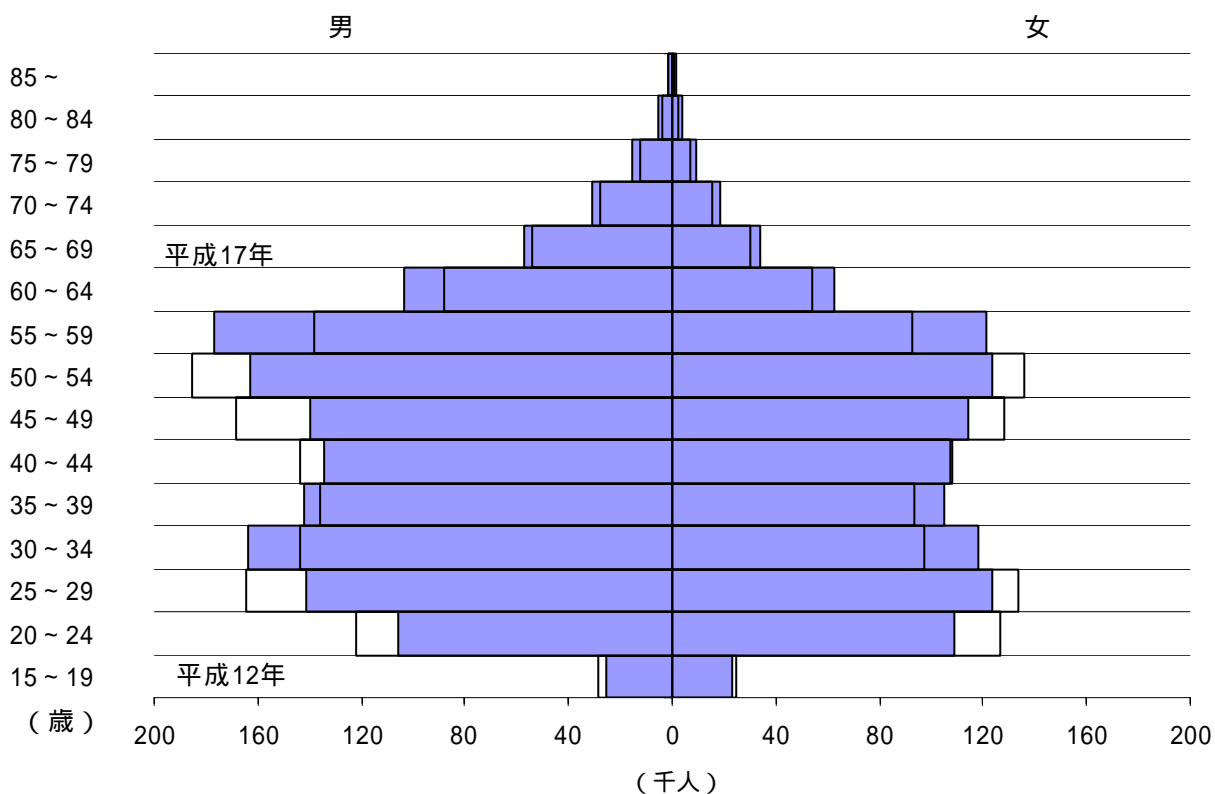
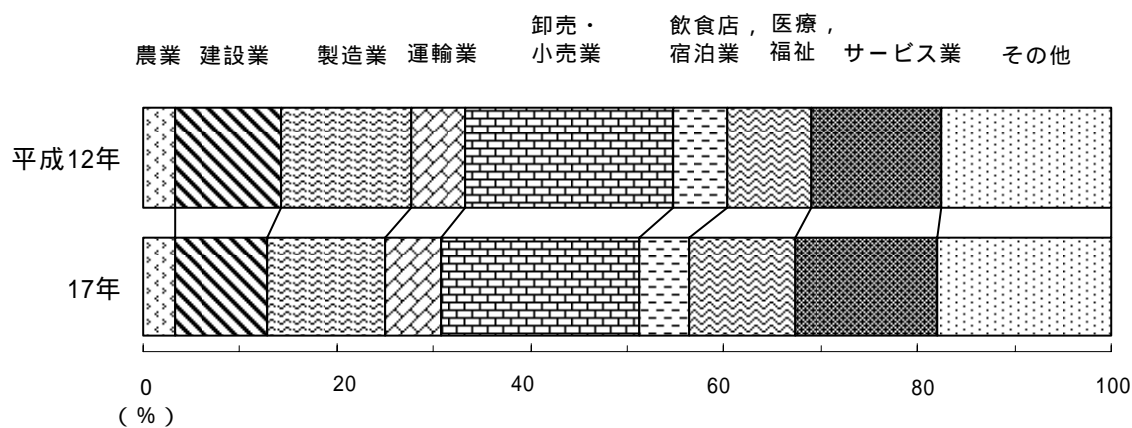


図2 福岡県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育, 学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務(他に分類されないもの)」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は, 日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。